

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI宮原教室		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 1日		2024年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2024年 1 1月 1日		2024年 11月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ルール遊びを毎回入れケガのないようお子様が楽しめるプログラムを考え行っている。	限られたスペースの中でドッジボールなどの球技や鬼ごっこなどケガのないよう角をゴムで保護したり、マットで壁を保護するなどして行っている。	球技やおにごっこなどスペースを最大限に活用しケガのないように様々なルール遊びや運動ができるようにしていく。
2	親子プログラムをおこなっている。	週ごとに活動内容を変えて行っている。主に取り組んでいる運動と一緒に作ったり製作などお子さまの普段の様子を見てもらっている。	保護者同士の交流の場としても行っているが、交流をもう少しできる場にしたいとの要望も出ているためきっかけとなる活動を取り入れていく。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	教室のスペースが狭い為ご利用人数が多い場合のスペースの使い方など工夫が必要。	スペースが狭く限られた運動しか取り組めないことがある。	スペースを変えることはできない為、ケガのないよういかにスペースをうまく利用して運動を提供していく。
2	保護者同士の交流がもう少しあるという意見がみられた。	保護者プログラムなど保護者参加型のプログラムはあるがその際保護者同士でお話する機会などは設けてはいない。	保護者同士がお話できるきっかけづくりの場をプログラムに入れていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMI宮原教室

公表日 令和 7年 2月 21日

利用児童数 31

回収数 19

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	4	2		・人数が増えたので少し狭そうに見える。 ・整理整頓できている。	以前より人数が増えご不便おかけして申し訳ございません。限られたスペースで楽しく活動できるよう進めて参ります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	2			・適切だと思います。 ・足りないと感じることはない。	法律上の配置数は満たしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16			2	・外履き内履きの境目が曖昧。 ・とても配慮されていると思います。	貴重なご意見ありがとうございます。今後改善して参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	1	1		・よく見てくださりありがとうございます。	今後も継続していきます。
適切 な支 援の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	2			・聴覚障害がありマスクをしていると声が伝わりづらい為できればマスクを外してほしいとお願いしたら次の会から先生方がマスクなしでプログラムをして下さいました。1人に為にありがとうございます。 ・子どもの扱いは上手だと思う。 ・ST、OTなど専門的な助言が欲しい時もある。	現在OT、STの資格保持者がありません。療育内容がカバーしていける点など共有を図っていけると幸いです。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17			2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18			1	・1人1人それぞれにあった支援をされてると思います。	貴重なご意見ありがとうございます。今後も継続して参ります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15	1		3	・家族支援や移行支援とは具体的にどのようなのかわからない。 ・プログラムは混在した年齢が達成できき今後の支援内容を考えていくものになります。「移行支援」について教育機関につなげたり訪問、会議に参加し支援内容の報告、共有を行うものです。 ・運動プログラムに関して工夫してまいります。	・「家族支援」については、ご家族で悩まれている事はもちろん、学校生活での困りごとや不登校といった内容を相談頂き今後の支援内容を考えていくものになります。「移行支援」について教育機関につなげたり訪問、会議に参加し支援内容の報告、共有を行うものです。 ・運動プログラムに関して工夫してまいります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19				・何かを作った終わりじゃなくて作ったものを使って活動をするのでとても良いと思います。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19				・季節のイベントに合ったプログラムで工夫されていると思います。 ・同じにならないように飽きないように工夫されている。	今後も子どもたちが楽しめるプログラムを考えて参ります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	8	5	・なくていい。 ・室内での活動などが主なので外部との交流は少ないかと思う	外部交流の計画は現在予定しておりません
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19				・1番最初に説明されました。		
13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19				・計画書を見ながら説明されました。		
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	2	1	2	・面談はあるので個々に対応の仕方などはアドバイスもらえる。		

保護者への説明等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	18	2			・日頃から先生方からのフィードバックが行われ子どもの成長を感じることができる。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	4	2	2	・通い始めたばかりなので面談は受けていないです。 ・面談の際は、色々とお話を聞いてもらい支援に繋がって頂いている。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	1					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	2	3	5	・弟も楽しみに参加させて頂いています。いつもありがとうございます。 ・気軽に保護者同士で情報交換ができるような機会があれば嬉しいです。 ・イベントは家族参加できているので良い。	親子プログラムなどで保護者様同志の交流の場を作れないか職員間で検討して参ります。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	1	1	2	・振替が続いてしまってモクガや病気の心配までして下さり、迅速に次の振替の日の対応して下さいました。	今後も継続して参ります。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	2			・保護者プログラムが意思疎通、情報伝達に繋がっていると思います。 ・LINE、ツールはすごく良いと思う。		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	2		3	・SNSの更新をもう少し増やしてほしいです。他の教室の様子も知れて嬉しいですが自分の子の子の様子の方が知りたいので教室事の方が分かりやすいです。	善処して参ります。	
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18				1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	3			1	・訓練はしているが、内容の詳細は伺っていない。 ・1番最初にとても丁寧に説明されました。 ・避難場所は利用開始時に細かく教えてもらった。	訓練の日は保護者の方にも見ていただけるような取り組みにしていけるよう検討して参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	1			3	・見学の際に避難訓練の様子を見ました。	・地震、火災、不審者対応の訓練を実施しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1			2	・実際に事故がないので分からない。 ・実際に起きた時はどうか分からない。	・事故が起きた際は、事故が起きた経緯をお話しし冷やすなど対応しております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18	1			・預ける時にはまだ不安そうにしていますが少しずつ慣れてきていると思います。 ・通い始めた間もないですが子どもの素が出せていて安心して通えている。	・嬉しいコメントありがとうございます。今後も子どもたちが楽しめるよう努めて参ります。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18			1	・まだ通い始めて数か月なので少し緊張気味です。 ・とても楽しみにしています、大スキなようです。 ・毎回楽しみにしております。 ・自分で準備してくれるようになりました、教室の近くに行くとき「キヤー」と走り出して着くとニコニコしている。 ・母子分離が難しいが親子プログラムにはまずまず参加できている。	・嬉しいコメントありがとうございます。今後も子どもたちが楽しめるよう努めて参ります。	

	29	事業所の支援に満足していますか。	18	2		<ul style="list-style-type: none"> ・いつもありがとうございます満足していますがもっとできる事があるのではないかと不安な時もあります。 ・フィードバックが毎回あるので何をしたら分かりやすいです。 ・できるという自信を持ち取り組んでいる。 ・お友達との会話をしっかり話せるように見守ってくれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も子どもたちが楽しく運動に取り組めるよう努めて参ります。
--	----	------------------	----	---	--	---	---

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		TKUMI宮原教室				公表日	令和 7年 2月 21日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・スペースは狭いが法律に遵守したスペースになっている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・法律上守っている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・自動ドアのスイッチをOFFにしている。 ・ドアの開閉時子どもの指挟みなど考えられる為職員が行っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・活動前後道具の消毒や掃除を毎日行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5	・部屋が無い為、スペースの確保はパーテーションで区切るなど行っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		・毎日朝礼、終礼にて子ども情報の共有振り返りを行い記録している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・保護者向け評価を実施し、保護者の意向を把握し業務改善に繋げている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	・社内研修は実施されている。		
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・年間の運動スケジュールを保護者に公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		・職員間で子どもの様子や課題を話し合った上で保護者ニーズも確認し支援計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・支援ミーティングを行っている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・フェイスシートを使用している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・個々に合わせた支援選択し組み合わせて行っている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	・活動前後の打ち合わせで共有、振り返りを行っている。		

の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・年に3回イベントを実施。 ・子どもや保護者ニーズに応じてプログラム作成を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		・都度状況に合わせて個々の内容にしたり集団活動を取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・子ども情報を読んだり療育内容を共有してから受け入れをしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・当日の様子を子ども情報に残している。 ・日々振り返り次回に繋げている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・個別支援計画に沿って記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・半年に1度個別支援計画の見直しをしている。 ・保護者面談を行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・依頼があった際に学校に訪問したり教室状況を伝えたり内容を提示し連携を図っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			・要望が無い為行っていないが行う体制は整っている。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・保護者と支援前後に必要な情報共有を行い共通理解を持って支援を行っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時に行っている。		

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・面談を行っている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	4	・親子プログラムを活動プログラムに取り入れている。プログラム中に保護者との交流も兼ねている。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・面談日を決め迅速に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		・インスタを行っている。 ・LINEで行事予定をお知らせしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・火災、地震、不審者対応年1回実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		・契約時に確認している。変更があった際は都度保護者と共有を図っている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	3		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・記録を残して共有、保管している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・虐待年2回研修している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		・保護者には契約時に説明している。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI宮原教室		
○保護者評価実施期間	2024年11月 1日		～ 2024年 11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2024年11月 1日		～ 2024年 11月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ルール遊びを毎回入れケガのないようお子様が楽しめるプログラムを考え行っている。	限られたスペースの中でドッジボールなどの球技や鬼ごっこなどケガのないよう角をゴムで保護したり、マットで壁を保護するなどして行っている。	球技やおにごっこなどスペースを最大限に活用しケガのないように様々なルール遊びや運動ができるようにしていく。
2	親子プログラムをおこなっている。	週ごとに活動内容を変えて行っている。主に取り組んでいる運動を一緒に行ったり製作などお子さまの普段の様子を見てもらっている。	保護者同士の交流の場としても行っているが、交流をもう少しできる場にしたいとの要望も出ているためきっかけとなる活動を取り入れていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	教室のスペースが狭い為ご利用人数が多い場合のスペースの使い方など工夫が必要。	スペースが狭く限られた運動しか取り組めないことがある。	スペースを変えることはできない為、ケガのないよういかにスペースをうまく利用して運動を提供していく。
2	保護者同士の交流がもう少しあるという意見がみられた。	保護者プログラムなど保護者参加型のプログラムはあるがその際保護者同士でお話する機会などは設けてはいない。	保護者同士がお話できるきっかけづくりの場をプログラムに入れていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMI宮原教室

公表日 令和 7年 2月 21日

利用児童数 26

回収数 18

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	7	1		・元々のスペース上仕方ないことだと思うが親子プログラムの人数が多い時は少し狭いかなと感じる。	・ご不便をおかけして申し訳ありません。限られたスペースの中で楽しく活動できるように進めて参ります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	1				
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16			2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	1			・いつもとてもきれいに整理整頓されていると思います。	・今後も継続してまいります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16			2		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17			1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	3		3	・色々、手厚く支援して頂いているがどれほどの支援かはよく分かっていない。	・「家族支援」については、ご家族で悩まれている事はもちろん、学校生活での困りごとや不登校といった内容を相談頂き今後の支援内容を考えていくものになります。「移行支援」について教育機関につなげたり訪問、会議に参加し支援内容の報告、共有を行うものです。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	3		1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	1				
保 護 者 へ の	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	4	9	4		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	3	1	1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17	1				
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	2	1		いつも面談の際に、丁寧に話しを聞いて下さり安心してご相談することができています。	・ありがとうございます。今後も継続して参ります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	1				

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	4	3	3	・いつも下の子どもプログラムに楽しく参加させて頂き感謝です。保護者同士でもお話しする機会があればいいと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。今後プログラムの中に入れることを検討して参ります。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	3		4		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	1		3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	1		3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	1		2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16			2		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	3			仲の良いお友達もできて体を動かすことでとても息抜きになっているようです。	・今後も楽しいプログラムを考えて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1			運動のプログラム以外でも、いつも季節ごとに楽しいイベントを考えて下さりありがとうございます。	ありがとうございます。今後も子どもたちが楽しめるプログラムを考えて参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	TAKUMI宮原教室					公表日	令和 7年 2月 21日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・スペースは狭いが法律に遵守したスペースになっている。 ・マットやゴムを角につけて保護している。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5						
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	・自動ドアのスイッチのOFFにしている。	・ドアの開閉時子どもの指挟みなど危ない為職員でドアの開閉を行っている。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・道具の消毒、掃除毎日行っている。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		5	・部屋が無い為、スペース確保はパーティションで区切るなど行っている。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・毎日朝礼、終礼にて全員で子ども情報の共有、振り返りを行い記録している。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5						
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5						
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5						
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	・社内研修は行っている。	・専門知識からの研修の機会があると尚良いと感じるので検討していく。			
適切な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・年間運動スケジュールを保護者に公表している。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・職員間で子どもの様子や課題を話し合った上で保護者ニーズも確認し支援計画を作成している。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・支援ミーティングを行っている。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5						
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・フェイスシートを使用している。				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・個々に合わせた支援選択し組み合わせて行っている。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	・活動前後の打ち合わせで共有、振り返りを行っている。				

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・年に3回程度のイベントを実施。 ・子どもや保護者ニーズに応じてプログラムの作成を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		・都度、状況に合わせて個々の内容にしたり集団活動を取り入れています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・子ども情報を読んだり療育内容を共有してから受け入れをしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・当日の様子を子ども情報に残している。 ・日々振り返り次回に繋げている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・個別支援計画に沿って記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・半年に一度個別支援計画の見直しをしている。 ・保護者とも面談を行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		・気持ちのコントロールや活動への参加、意思決定などの際に複数の選択肢を提示している。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		・現在会議参加の予定はないが、今後検討していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		・依頼があった際に、学校に訪問したり教室状況を伝えたり内容を提示し連携を図っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		5		・送迎が無い為下校時刻の確認は行っていない。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			・就学前に依頼があった場合際は、今までの情報提供を行う。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・毎回フィードバックを行い様子を共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	・毎時、親子プログラムを実施している、その際親子で取り組める内容を提供している。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・変更があった際は都度説明している。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・面談を行っている。		

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・要望があれば面談を設けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5	・保護者会は実施していないが、親子プログラムや年2回程度のイベント時に保護者、兄弟参加の機会を設定し交流の機会を設けている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・フィードバック時や面談時には専門用語を控えている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・マニュアルを策定し、定期的に研修を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・備品チェックと共に避難訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		・契約時に事前に確認し聞き取りを行っている。また都度変更時に保護者と共有教室内周知している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・食物アレルギーについて記入して頂き必要に応じて対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・安全対策は年3回、物品や経路といった確認を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・契約時に避難経路を説明し年2回避難訓練を実施し保護者に周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・ヒヤリハットを作成し、共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・委員会と研修を設定し定期的実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・契約時に必ず説明している。		